

令和5年度 市長のタウンミーティング実施報告書（村木地区）

会場名	村木コミュニティセンター	日時	10月16日(月) 19時00分 ～20時45分
市側の出席者	市長 村椿 晃 企画部長、総務部長、産業建設部長、民生部長、教育委員会事務局長、情報広報課長、地域協働課 協働推進係長、情報広報課 広報広聴係長(司会)		
参加者数	23名	YOUTUBE 動画	視聴者数(最高時点) 17人 チャット(投稿数) 0件



1.市長講話

市長 村椿 晃 「自治基本条例・各地域におけるコミュニティセンターについて」
(20分程度 資料に基づき講話)

2.事前質問(地区から事前にいただいた提言・提案等について)

○ 広島での平和教育のように、百年以上前に女性が民主主義に関わった魚津の歴史教育に「魚津の米騒動」資料を使用してはいかがでしょうか。

(村椿市長)

学校では、ふるさとの歴史を学ぶ時間を設けて、子どもたちに伝えていくことをしていますが、中々難しいところもあります。コミュニティにおいて子どもたちにどう関わっていくかということセットでやるのが最も重要なのではないかと。子どもたちいろいろな話をできる時間を増やして、関わっていきたくと思っています。

3.意見交換(地区からの提言・提案等について)

○ たてもん祭りの保存について

(村椿市長)

ここ3、4年はコロナ禍で積極的な取組をあまりできませんでしたが、来年度からまたたてもんブ

プロジェクトを再開できないか考えているところです。教育委員会とともに一緒に考えていきたいと思います。

○ **インバウンドの取組について**

(村椿市長)

富山県の取組に、いろんな市町村が参加をしてやるということを今やっているところです。例えば、魚津市では漁業協同組合の方などが中心となって、海産物などを外国に輸出をするといったようなものを県が音頭を取って一緒にやっています。また、魚津市の場合は果物がとても魅力です。果物が珍しい地域に魚津の果物をアピールして、輸出に繋げられるような取組をしていけたらと思っています。

○ **コミュニティセンター化していく中で、指定管理者制度になった場合にはどんな影響があるのでしょうか。**

(村椿市長)

指定管理制度になった場合には、市からの委託費も含めてコミュニティセンターの方の采配で予算を組んで執行していくこととなります。それで得られた財源のうち自由になる部分が出てくるのですが、そういったものは、皆さんのところの地域活動に使えるようになります。

○ **「まるまる魚津」のような大きなイベントで、たてもんの曳き回しなどをするのはどうでしょうか。**

(村椿市長)

人が集まる時に、もっと効果的にPRするという事は良いことだと思います。保存会にも相談の上検討していきたいと思います。

○ **人口減少の中で、特に若い女性の流出が多いと聞きます。女性が働きやすい環境を整えるなりして、いかにして人口減少を食い止める魅力ある魚津市にしていけないか。**

(村椿市長)

市役所の新規採用職員においては、近年男性よりも女性の方が多く入っていただいている状況にあり、優秀な女性に入ってきていただいています。市役所だけでなく、民間も含めて働きやすい環境づくりを考えていきたいと思っています。